

第1学年 生活科学習指導案

令和3年12月7日 1・2校時

令和3年12月15日 3・4校時

名護市立名護小学校 1年2組

授業者 島川 千佳

研究テーマ

気付きの質を高める生活科の授業づくり ——思いや願いを実現していく学習過程の積み重ねを通して——

1 単元名

あきとなかよし ～あきのたからものであそぼう～ 内容(5)(6)(8)

2 単元目標

秋の自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動やそれを伝え合う活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」(6)「自然や物を使った遊び」(8)「生活や出来事の伝え合い」を基に構成されている。本単元のスタートに、学校内外で秋見付けを行う。秋の葉っぱや木の実等の秋の自然に触れ、自然を使った遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しんだり、季節によって自分たちの遊びや生活の様子が変わること気付いたりすることをねらいとしている。また、秋の楽しさや面白さを教室いっぱいにして、自分たちで遊ぶ「秋いっぱいランド(仮)」や園児を招いて遊びの中で秋を伝える活動を行うことで、対象や自他のよさや特徴等に気付いていくことができ、気付きの質を高めることができる学習材である。

(2) 児童観

10月に実施したアンケートでは、26名中24名の児童が「生活の勉強が好き」と回答し、生活科の学習を楽しく感じている児童が多いことがわかる。これまで、朝顔の栽培活動や町探検などの学習を通して体験の楽しさを味わわせたり、気付いたことを絵作文やみつけたよカードに書いたり、発表したりするなどの取り組みを行ってきた。しかし、発見した気づきを友達と共有し、お互いの考えを比べたり関連付けたりする等、自分の考えを広めたり深めたりすることは、まだ十分ではない。また、「生活の学習で、自分の感じていることや考えていることを相手に伝えることができますか」という項目では、消極的な回答をした児童が約4割おり、自分の感じたことや考えたことを伝えることに対して苦手意識を持っている児童が多いことがわかった。さらに、自分でつくったもので遊んだ経験があると答えた児童は、約7割に満たず、これまでの遊びの経験に差が見られる。身近な秋の自然を用いた遊びを通して、知恵を出し合い、工夫したり、友達と関わったりして遊ぶ面白さや自然の不思議さに気付いていくことが児童一人一人にとって肝要であると考えられる。

(3) 指導観

児童一人一人の「気付きの質を高める」ことを目指し、本研究では、児童の思いや願いから広がる連続的で発展的な学習活動が繰り返し行える環境を整え、児童の思いや願いを実現していく単元構成を工夫する。生活科の学習過程を「今日の時間にやりたいこと(①思いや願い)→②体験・活動(③感じる・考える)→気付いたことの伝え合い(④表現・交流)→次の時間にやりたいこと(①思いや

願い)へ」とし、自分の思いや願いを実現させようと試行錯誤する中で、「体験と表現」を繰り返し、主体的、能動的に考え、何度も挑戦する学習過程の積み重ねを大切にします。

本単元では、ステップ①「秋でつくってあそぼう」ステップ②「秋いっぱいランドを開いて遊ぼう」ステップ③「園児を招いての秋いっぱいランド」と活動が繰り返されるよう3段階に設定する。ステップ①では、遊びやつくるものを限定せず、幼児期の経験を生かしながら、一人一人のつくりたいものを調べることができるように、図鑑や本を静止画にして、児童のタブレットに送り、活用する。児童一人一人のやりたい遊びやつくりたい思いや願いを高めた中で、活動へ移行する。その中で生まれる「もっといいものをつくりたい」などという児童の思いや願いを受け止め、ステップ②の学習へと展開させ、「見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫する」などの多様な学習を十分に取り込み、活動を充実させていく。そして、「こんなに良いものができたんだから、誰かに見せたい」「一緒に遊びたい」という思いや願いを想定し、ステップ③へとつなげる。活動の中で児童が考えたことや気付いたことを自覚しながら整理・表現できるよう「はっけん!」「ためしたよ!」「つぎは、こうしたい!」等の思考に絞って、絵と文で表現したり、今日の自分の活動を「うまくいったよ」「うまくいかなかったよ」等の顔マークで書いたりできる学習シートを工夫する。書き溜められた学習シートをポートフォリオ化し、単元の終わりを迎える頃に見直す機会を設けることで、「自覚的な気付き」「関連付けられた気付き」「自分自身への気付き」を促すことができると考える。

(4) 単元の評価規準

評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	秋の自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動やそれを伝え合う活動を通して、その面白さや自然の不思議さに気付いている。	秋の自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動やそれを伝え合う活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	秋の自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動やそれを伝え合う活動を通して、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
小単元における評価規準	① 身近な自然や物は、いろいろな遊びに利用できることに気付いている。 ② 遊びの楽しさや遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。	① 比べたり、試したり、見立てたりしながら遊びを楽しんでいる。 ② 遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだりしたことを振り返り、表現している。	① みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。 ② 友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。

(5) 単元の指導と評価の計画 (全 15 時間)

活動	小単元	時	学習過程	学習活動	予想される気付き	評価規準	評価方法
見付けた秋であそぼう (前半) (7 時間) 済 (秋はどんな季節かな、秋探し、見付けた秋の紹介、秋の自然でお洋服づくり、お洋服を着けてパレードへ)							
活動①	見付けた秋で遊ぼう (後半)	1	①思い・願い	集めてきた秋を使った作品やおもちゃづくりのイメージをもち、つくりたいものを決める。	自然の面白さ・不思議さ 工作への興味・関心	知①	発言 つぶやき 行動観察 学習シート
		2	①思い・願い	材料や道具、つくり方を調べ、つくる計画を立てる。	つくりたいもの・材料・つくり方・道具・アイデア	態①	
		3・4	②活動・体験 ③感じる・考える	つくりたいものをつくったり、自然物や活動について表現したりする。	材料の違い・色・形・大きさ・動き方・遊び方・遊びのルール	思①	
		5	④表現・交流 ①思い・願い	作ったものを紹介する。絵本「おちばいちば」の読み聞かせを聞き、類似したおもちゃのお店屋さんをつくる。	多様なアイデア・友達と関わって遊ぶ楽しさ・達成感・喜び・更なる意欲		
活動②	一年二組秋いっぱい市場	6・7	②活動・体験 ③感じる・考える	お店の友達と相談しながらおもちゃなどを改良する。	多様なアイデア・改良へ向けて遊びを創り出す面白さ	知②	発言 つぶやき 行動観察 学習シート
		8	②活動・体験 ④表現・交流	「お試し秋いっぱい市場」をし、気付きを共有する。	遊び方の工夫・楽しませるための課題の発見・更なる意欲	思②	
		9	①思い・願い ②活動・体験	「お試し秋いっぱい市場」で気付いたことを基に必要なものを準備する。	グループの課題の解決策・相手意識をもった準備		

		10	②活動・体験	クラスのお友達と「秋いっぱい市場」をする。	友達との関わって遊ぶ楽しさ・達成感・喜び・更なる意欲・自分自身の成長	態②	
		11	④表現・交流 ①思い・願い	活動を振り返り、誰かを招待したいという思いをもつ。			
活動③	園児と一緒に秋いっぱい市場	12	②活動・体験	園児が楽しめるように、みんなで協力して準備をする。	思いやり・楽しませるための工夫・多様なアイデア・遊びのルールの変更・更なる意欲	知②	発言 つぶやき 行動観察 学習シート
		13	③感じる・考える ①思い・願い	「園児と一緒に秋いっぱい市場」のリハーサルをする。		思②	
		14	②活動・体験	「園児と一緒に秋いっぱい市場」をする。	園児と関わって遊ぶ楽しさ・達成感・喜び・自分自身の成長	態②	
		15	④表現・交流	活動を振り返り、学習のまとめをする。			

4 本時の学習【3・4/15時間】

(1) 本時の目標(本時のねらい)

木の実や木の葉などの秋の自然物を活用して遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを工夫して作ったり、自然物の形状から様々な発見をしたりして秋を楽しむことができる。

(2) 本時の評価規準

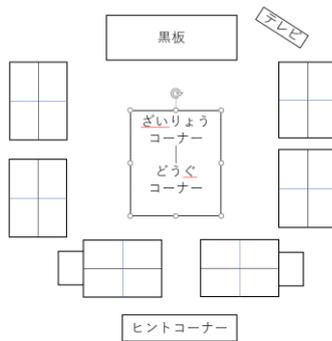
・比べたり、試したり、見立てたりしながら遊びを楽しんでいる。(思考・判断・表現)

(3) 展開

過程	学習活動・子どもの意識の流れ	教師の働きかけと評価基準
	1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。	○前時のワークシートを振り返ることで、自分の思いや願いを想起させ、活動内容を明確にする。
	あきのしぜんで「じぶんのたからもの」をつくろう。	
思いや願い	・どんぐりごまをつくりたいな。 ・葉っぱで飾ったネックレスをつくりたいな。	
体験・活動	2 つくりたいものをつくったり、自然物についていろいろ発見したりする。	○材料コーナー、道具コーナー、ヒントコーナーを設定することで、困ったときには、それぞれのコーナーを活用させる。 ○ヒントコーナーには、図鑑や絵本、教師の作成したおもちゃなどの見本を提示する。 ○一人一人の気づきや考えを見取り、活動が発展するよう支援する。教師が声をかけて一緒に遊んだりする。
試行錯誤	・どんぐりは、一つ一つ大きさや色や形がちがうな。おもしろいな。どうしてかな。 ・はっぱと空き缶をテープでくっつけたいな。いい方法はないかな。 ・まつぼっくりにひもがうまくむすべないな。どうやったらうまくできるかな。 ・空き缶の中にどんぐりを入れたら、不思議な音がしたよ。がっきみたい。 ・どんぐりのこまがまわったよ。もっと、よくまわるこまをつくりたいな。	
感じる・考える	3 活動を通して、感じたり、考えたりしたことを交流し、後半の活動について考える。	○「さくせんタイム」を設け、気づきの視点を基に、情報交換ができるようにする。
表現・交流	・わたしは、空き缶に葉っぱをくっつけてボーリングをつくっています。赤い葉っぱでウサギみたいにしましたよ。	【気づきの視点】 ・はっけん! (みつけたよ) ・くらべる (おなじ・ちがうところ) ・たとえる (○○みたい、にているね) ・よそうする (○○すると、~なるかも) ・ためす・くふうする (○○すると、~になった)

<p>表現・交流</p>	<p>・〇〇さんにひもの結び方を教えてもらいました。つぎは、大きいまつぼっくりと小さいまつぼっくりどっちがいいか、比べてみるよ。</p> <p>・不思議な音の出る楽器ができたよ。小さいどんぐりに変えると音が変わりそう。</p> <p>・ぼくのどんぐりごまは、こうすると、うまくまわるようになったよ。</p>	<p>○気づきや疑問を伝え合いながら、活動することの大切さを伝え、友達と関わりながら活動できるよう支援する。</p> <p>○活動が停滞している児童に「みんなはどんなふうにつけているかな。」と他の子どもの活動を参考にさせる。</p> <p>○「比べる」「試す」「見立てる」といった思考を促す働きかけをする。</p> <p>評価基準(●手立て)</p>
<p>体験・活動</p> <p>感じる・考える</p>	<p>4 もう一度作り直し、つくったおもちゃで遊んでみる。</p> <p>5 後片付けをする。</p> <p>6 学習シートにて活動の振り返りをする。</p>	<p>A 友達と交流しながら、秋の自然物を使って、試したり、見立てたりして工夫しながら進んでつくっている。</p> <p>B 集めた自然物を使って、じぶんに工夫しながらつくっている。 (学習シート・行動観察・発言分析)</p> <p>● 同じおもちゃをつくっている友達とつなげたり、ヒントコーナーを参考にしたりさせながら、活動が進めるよう支援する。</p>
<p>表現・交流</p>	<p>・発見！どんぐりの形でこまの回り方が違うよ。</p> <p>・まつぼっくりけん玉がよく入るように、ひものながさを変えてみたよ。</p> <p>・わたしの楽器、もっと秋らしく飾りたいな。</p> <p>・友達は、どんなものをつくったのかな。知りたいな。遊びたいな。</p>	<p>○学習シートをもとに、本時の学習を振り返り、全体で共有する。</p> <p>○次時の予告をする。</p>
<p>思いや願い</p>	<p>8 次時の活動を確認する。</p>	

(4) 場の設定と板書計画



めあて あきのしぜんで「じぶんのたからもの」をつくろう。

【今日の活動】

- ①はなしあい
- ②つくる
- ③きづきタイム
- ④つくる
- ⑤あそぶ
- ⑥ふりかえり

きづきタイム

つまようじとどんぐりがまっすぐだといよ。

ひもの長さを覚えてみると、入りやすくなるかな。

ふしぎ。中に入れるどんぐりを変えると音が変わるよ。

【気づきガイド】

- ・はっけん! (みつけたよ)
- ・くらべる (おなじ・ちがうところ)
- ・たとえる (〇〇みたい、にているね)
- ・よそうする (〇〇すると、～なるかも)
- ・ためす・くふうする (〇〇すると、～になった)

名まえ	つくりたいもの	12/2
	まつぼっくりけんたま	◎
	木のみのある	◎
	木のみアクセサリー	
	はっばポーリング	◎
	どんぐりこま	
	がっき (ギロ・マカス)	
	どんぐりころころおとし	◎

ふりかえり

はっけん!

〇〇のながさをかえると、うまくいったよ。

ためしたよ!

〇〇でためしたけど、うまくいかなかったよ。

つぎは、こうしたい!

ちがうざいりようでも、うまくいくかな。

5 本時の学習【10・11/15時間】

(1) 本時の目標 (本時のねらい)

つくったもので遊んだり、発見したことやつくり方を紹介したりすることを通して、みんなで秋を楽しむことができるようにする。

(2) 本時の評価規準

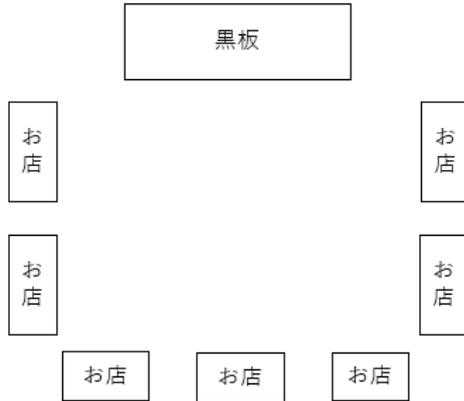
- ・友達の良さを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 展開

過程	学習活動・子どもの意識の流れ	教師の働きかけと評価基準
	<p>1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>クラスみんなで「あきいっぱいいちば」であそぼう。 おきゃくさんにたのしんでもらうくふうをしよう</p> </div>	<p>○作ったもので遊びたい、紹介したいという子どもの思いや願いからイベントへ繋がったことを振り返る。</p>
思いや願い	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たのしい遊びがたくさんできたよ。紹介したい。 ・お友達のものでも遊びたいな。 </div>	<p>○「あきいっぱいいちば」を通して身近な人と交流することの楽しさに気付かせる。</p> <p>○司会やあいさつ等の役割を分担し、児童自身で運営する「あきいっぱいいちば」にする。</p>
体験・活動	<p>2 「あきいっぱいいちば」を開き、友達に秋の遊びの楽しさを伝え、一緒に楽しむ。</p>	<p>○遊び方や作り方を提示し、友達と楽しむための準備をしておく。</p> <p>○活動中に修理ができる準備をしておく。</p>
感じる・考える	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりのこまは、棒のところを持って、勢いよく回すんだよ。 ・この魚は、全部まつぼっくりでつくったんだよ。開いているまつぼっくりを選んだんだ。 ・まつぼっくりのひもの長さを工夫したよ。長くても、短くても入りにくいよ。 ・どんぐりころころおとしは、どんぐりがとちゅうで、おちないようにするところがむずかしかったよ。 ・遊び方も分かりやすく説明しているね。 ・見やすく、きれいに飾っているね。 </div>	<p>○活動中に修理ができる準備をしておく。</p>
表現・交流	<p>3 遊びを通しての感想発表をする。</p> <p>4 プログラムの中の「先生のお話し」にて、「あきいっぱいいちば」に至る過程について振り返り、賞賛する。</p> <p>5 後片付けをする。</p>	<p style="text-align: center;">評価基準(●手立て)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 友達の良さを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを修正したり、試したり、工夫したりしている。</p> <p>B つくったもので遊び、みんなで秋を楽しむことができる。 (学習シート・行動観察・発言分析)</p> <p>● 「どうしたら楽しくなるか」考えるようにし、みんなで楽しく遊べるよう支援する。</p> </div>
感じる・考える	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お友達の発見を知ることができて、なるほど!と、思ったよ。 ・こんなに良いものできたんだから、誰かに伝えたい。幼稚園生を招待したいな。 </div>	<p>○「おかたづけのうた」の音楽を活用する。</p> <p>○お友達の良さを発見した児童の意見を聴いて、全体で共有した上で、ステップ③の園児を招いての「あきいっぱいいちば」を開くことを伝える。「はっけん!」「くふうしたよ!」「つぎは、こうしたい!」などの視点を与えた学習シートを活用する。</p>

表現・交流	7 次回は、園児を招いて「あきいっぱいいちば」をすることを伝え、学習シートにて活動の振り返りをする。	○招待する人を意識して書いた児童の振り返りを取り上げ、相手の立場になって考える必要性に触れ、次時への意欲につなげる。
思いや願い	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園生が楽しんでもくれるあきいっぱいいちばにしたいな。 ・招待状を送りたいな。 ・つくった秋をプレゼントしたいな。 </div>	
8 次時の活動を確認する。		

(4) 場の設定と板書計画



めあて

あきいっぱいいちば

あきいっぱいいちばをたのしもう。
たのしんでもらえるようくふうしよう。

【今日の活動】

- ①めあてのかくにん
- ②やってみる
- ③はなしあい
- ④ふりかえり
- ⑤はっぴょう

きづいたこと

おきゃくさんがきてくれてうれしかった。
○○をくふうしたら、うまかったよ。
もっと、やってみたい。
↑○○をもっとじゅんびしたほうがいい。

プログラム

- 1、はじめのことば
- 2、あそぶ①
- 赤チーム（おみせやさん）
- 白チーム（おみせやさん）
- 3、あそぶ②
- 赤チーム（おきゃくさん）
- 白チーム（おみせやさん）
- 4、かんそうはっぴょう
- 5、せんせいのことはなし
- 6、おわり